

平成29年度

石神第二小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 今野敦子

1 学校図書館の概要

学校の紹介

児童数が昨年度より17名増えて292名となり、全学年2クラス、支援学級3クラスの全15クラスとなった。

「安心・あったか・明るく・元気～すべての児童が生き生きと活動し、主体的に学ぶことができる学校～」を目指して教育活動を行っており、児童は元気いっぱいに学習・運動に取り組んでいる。

昨年度からの3年間、相馬地方小学校教育研究会より国語の指定を受け、特に国語教育に力を入れており、図書資料が積極的に活用されている。

学校図書館支援活動は6年目に入り、現学校図書館支援員の担当は2年目となる。

平成29年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	合計
42名	42名	52名	45名	42名	58名	11名	292名

(平成30年3月末時点)

学校派遣日 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 山崎たけみ先生・稲垣みゆき先生・阿部緑先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 10,408点

学校図書館受入点数(3月末時点) 327点

うち 市費購入点数及び金額 253点(490,643円)

うち 寄贈資料点数 28点

うち PTA費購入点数 46点

2 平成29年度の課題及び目標

課題1 第二図書室(閉架書庫)の利用頻度が低い。

課題2 図書室をよく利用する児童とあまり利用しない児童とで、利用頻度に差がある。

課題3 低学年では迷路やまちがいさがし、中・高学年では学習まんが等を繰り返し借り、物語等の読み物をあまり読まない児童がいる。

課題4 電算化作業の実施にあたり蔵書冊数が多い。

目標1 第二図書室の図書や書架に工夫を施し、活用しやすくする。

目標2 学級担任と協力し、児童に図書室への興味を持たせる取り組みを行い、今まで利用が少なかった児童にも図書室を利用してもらえるようにする。

目標3 物語等の読み物を進んで読む児童を増やし、その読書によって文章を読み解く力や登場人物の気持ちを理解する心を養わせる。

目標4 電算化作業を行う図書の優先順位を定め、計画的に効率良く作業を進める。

3 活動の方針

- ①第二図書室の図書で背表紙が日に焼けて見えにくいものにはタイトルラベルを貼り、書架には分類表示を施すことで、目的の図書を見つけやすい環境作りを行う。
- ②図書館オリエンテーションや図書委員会との共同企画を行うとともに、学級担任と児童と一緒に図書室を利用する機会を促すことで、図書室利用の促進化・定着化を図る。
- ③物語等の読み物を読まない児童への働きかけとして、児童が今どのようなことに興味を持っているのかを聞き、その興味に沿ったテーマの読み物を紹介することから始める。毎週水曜日の朝に行っている「静読」の時間には、まちがいさがしや学習まんがではなく、読み物を読ませるようにし、読解力の向上につながる読書の習慣化を図る。
- ④電算化作業は、図書ボランティアの方々の協力を得ながら、第一図書室の図書から優先的にを行い、利用頻度の低い古い図書や複本は除籍することで効率良く進める。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	・図書担当の先生との打ち合わせ ・図書室廊下壁面飾り作成 ・図書館オリエンテーション ・学級文庫配本開始 ・分類ラベル修正（～2月）	・前期組織編成、計画設定 ・貸出当番の手順確認	・学校図書館支援会議 ・図書の借用開始 ・学校司書との打ち合わせ（月1回程度、～3月）
5月	・個人貸出および授業利用開始 ・図書室廊下壁面飾り作成	・貸出当番開始 ・学級文庫配本開始 ・人気図書調査準備	・ブックトーク研修会
6月	・課題図書の受入 ・図書室廊下壁面飾り作成・電算化作業（～12月）	・低学年への読み聞かせ ・人気図書投票開始	・中央図書館見学（2年） ・電算システム研修（学校教育課主催）
7月	・1学期貸出冊数の集計	・人気図書ランキング発表 ・長期未返却者確認、督促	・子どもとしゃかんだより配布
8月			・電算システム研修（学校教育課主催）
9月	・購入図書の選書開始 ・図書室廊下壁面飾り作成	・夏休み貸出未返却者督促 ・前期活動の反省	
10月	・読書月間計画設定	・後期組織編成、計画設定 ・貸出当番の手順確認 ・貸出当番開始	
11月	・読書月間企画実施 ・次年度新聞雑誌選定終了	・読書月間企画実施、周知	・郡山市学校図書館視察研修
12月	・購入図書の受入 ・2学期貸出冊数の集計 ・電算システム運用開始	・長期未返却者確認、督促	・子どもとしゃかんだより配布
1月	・お正月お楽しみ企画実施	・冬休み貸出未返却者督促 ・低学年への読み聞かせ	・市費購入図書選書確認・発注終了

2月	・ 個人貸出終了	・ 長期未返却者確認、督促	・ 市費購入図書最終納品終了 ・ 子どもとしゃかんだより配布
3月	・ 蔵書点検 ・ 不明本搜索 ・ 3学期貸出冊数の集計 ・ 次年度計画	・ 蔵書点検 ・ 不明本搜索 ・ 後期活動の反省	

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

4～5月

・ 図書室廊下壁面装飾

①「まいにちがどくしょびより」

男の子と女の子のミツバチと4月から8月の季節の花々を作成して貼り、「まいにちがどくしょびより」と表示して、読書をする事の大切さを伝えた。(写真1)

②図書館だより、おしらせ等の掲示(写真2)

③桜の木～読書のすすめ～

のりパネ等で作成した木に、読書を楽しむ方法を貼った桜の切り絵を飾って紹介。

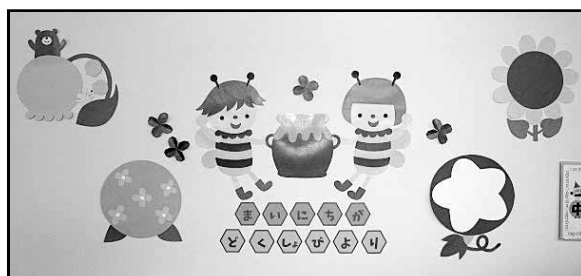


写真1 図書室廊下が明るくなるように工夫

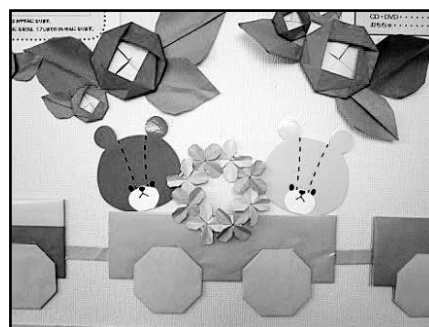


写真2 季節の花の折り紙で囲んで

・ 貸出の準備

貸出カードの印刷と氏名等押印、代本板へのカラーテープと名前シール貼り(1・3年分)、クラス名記入等(一部図書委員参加)

・ 図書館オリエンテーション(1年・2年・3年1組)(写真3、4)



写真3

オリエンテーション後の読み聞かせの様子



写真4

紹介した運勢占いに興味津々の児童の様子

- ・4類ラベル変更作業
- ・図書館だより第1号発行（5月初旬・支援員自己紹介、図書の借り方・返し方の確認等）
- ・図書室来館児童への折り紙指導「かさ」「ながぐつ」
- ・企画本「梅雨」「父の日」
- ・読み聞かせ実施回数 合計4回（1年合同…1回、2年1組…1回、2年2組…1回、3年2組…1回）

6～7月

- ・課題図書の受入
- ・図書館オリエンテーション（ひばり学級1組・2組・わかたけ学級2年合同）
- ・中央図書館見学（2年）
- ・1年「鳥」に関するブックトーク（写真5、6）

国語の単元「くちばし」との関連で、「鳥」に関するブックトークを行った。

紹介または読み聞かせした図書	紹介内容・児童反応等
①『とり』ブライアン・ワイルドスミス作・絵（らくだ出版）	導入時に1冊読み聞かせ。鳥の絵と名前だけが載ったシンプルな内容の絵本。
②『くちばし どれが一番りっぱ？』ビアンキ文 薮内正幸絵（福音館書店）	いろいろな鳥が自分のくちばしを自慢をするが、最後にはあっと驚く展開が…。ブックトーク後、「続きを読みたい」という児童が殺到した1冊。
③『鳥のくちばし図鑑 たべる・はこぶ・つくる』国松俊英文（岩崎書店）	くちばしの働きについて紹介。話が少し単調になり、集中が難しい児童がいた。クイズを盛り込むと良かった。
④『鳥の巣いろいろ』鈴木まもる作・絵（偕成社）	様々な鳥の巣の形やしくみを紹介。ページをめくるたびに、児童から歓声が上がり、興味を持ったようだ。
⑤『きたきつねとしろふくろうたすけあう』手島圭三郎絵・文（絵本塾出版）	種類の違う動物同士が助け合う話を紹介。1年生には少し難しかったようだが、知ってほしかった友情の絵本。
⑥『こすずめのぼうけん』ルース・エインズワース作 堀内誠一絵（福音館書店）	小鳥がいろいろな鳥の巣を巡る絵本を紹介。名作絵本ということもあり、読んだことのある児童が数名いて、ブックトーク後、嬉しそうに絵本の感想を教えてくれた。
⑦『ちょっとだけまいご』クリス・ホートン作（BL出版）	最後に「鳥の巣から落ちてしまった小鳥がみんなの協力を得て親を探す」内容の絵本を読み聞かせ。

※ブックトーク後は、鳥が出てくる絵本や図鑑等を自由に読む時間とした（中央図書館から人数分の図書を借用して提供）。



写真5

集中した表情でブックトークを聞く児童の様子



写真6

仲良く集まって1冊の本を読書する児童たち

- ・親子（家庭）読書の実施（6月開始）

第3日曜日（家庭の日）に20分間テレビやゲームを消し、親子（家族）で読書する時間を作ろうという取り組み。感想を記入した親子読書カード全校生分を学校図書館支援員が確認。

- ・図書室廊下壁面装飾

七夕折り紙飾り：織姫と彦星の笹リース、ちょうちん、星（図書ボランティア共同作成）

- ・図書委員会企画「人気図書ランキング投票」

図書委員が作成した投票用紙に、自分の好きな図書のの名前を書き、図書室内の投票箱に入れた（開票と投票結果の発表は2学期）。（写真7）

- ・児童の折り紙作品の展示

児童の作品にひもを通してモビールを作成したり、箱を作成して中に入れたりとい工夫を施し、作品のネームプレート（児童の氏名と作品名を表示）を作成して展示した。（写真8）



写真7

投票箱は2つの学年を合わせたものを3つ作成し、投票の説明とともに、窓際に設置



写真8

絵本コーナーの棚の一角にミニ美術館が完成

- ・スイミーくじ（7月初旬より開始）

絵本『スイミー』（レオ＝レオニ／作・好学社）より考案した今日の運勢占い。折り紙で黒い魚（スイミー）を1匹、赤い魚を1匹作成。他にクラゲ等を作成。スイミーのみ「大吉」とし、残りの魚には「中吉」「小吉」「吉」「末吉」と表示して箱に入れ、児童に引かせた。

- ・1学期個人貸出冊数上位者発表（図書室廊下掲示板と放送で発表）

- ・電算化作業（図書へのバーコード貼り付け・書誌データの登録）

- ・読み聞かせ実施回数 合計4回（1年合同…1回、2年合同…1回、2年2組…1回、ひばり学級・わかたけ学級合同…1回）

8～10月

- ・図書委員へ的人气図書ランキングポスターの作成指導。

- ・「はりねずみのつつみはどこに…？」（9月下旬より開始）

絵本『きりのなかのはりねずみ』（Y・ノルシュテイン／作、コズロフ／作、F・ヤールブソワ／絵・福音館書店）より考案した占いくじ。折り紙で作成した「巾着袋」にカットしたカラーパネルを封入し、物語ではりねずみが持っている「つつみ」を表現した。中身に合わせた果物占い。（写真9）

- ・日本と外国の絵本ラベル変更作業（図書ボランティア共同）



写真9

水玉のつつみを引くと、幸せになれる?!

- ・1 年生活「秋のブックトーク」

秋の読書週間についての説明後、秋のハロウィンに関する本や絵本から読み物への橋渡しとなる本を紹介した。フリー参観の日のため、保護者の方も参加。特に『みどりいろのたね』（たかどのほろこ／作・福音館書店）の続きを読みたいという児童が多かった。

- ・読み聞かせ実施回数 合計1回（2 年・ひばり学級合同…1 回）

11月～1月

- ・バーコードでの個人貸出開始（第一図書室の図書のみ）
- ・図書室廊下壁面装飾 クリスマス：ツリー、リース、家、雪の結晶（図書ボランティア共同）
- ・11月読書月間企画「読書ポイントカード」

11月から12月にかけて、1冊借りるごとに1ポイント貯まる「読書ポイントカード」を実施。10ポイントで1ステージクリアとし（ステージ1～3設定）、1月に「プレゼントくじ」が引けるという企画。くじの作成には図書ボランティアの方々の協力を得た。プレゼントは雑誌等の付録に加えて、図書委員作成のしおりや図書ボランティアの方の手作りのものを組み合わせ、92個用意。ステージ1達成者…74名、ステージ2達成者…18名（写真10、11）



写真10 図書委員の個性が光るしおり



写真11 プレゼントを渡す様子

- ・購入図書の選書・受入
- ・「武田康男氏講演会」実施企画本

気象予報士で空の写真家である武田康男氏の講演会（5・6年生参加）が開かれたことを記念し、武田氏の著書（武田氏からの寄贈図書を含む）や講演会の内容に通じる南極やオーロラに関する図書を集め、雪だるまや雪の結晶の飾りとともに、企画コーナーを作成した。

- ・2学期個人貸出冊数上位者発表の準備
- ・1月の企画本の準備（図書ボランティアとの共同制作「折り紙のおせち料理」）
- ・1月の図書室壁面装飾の準備（お正月、手袋と動物たち）
- ・読み聞かせ実施回数 合計1回（2 年合同…1 回） ※4月～3月…合計10回

5 中央図書館からのサポート内容

- ・図書の発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 450点／年

6 学校図書館貸出実績

(1) 年間貸出点数

① 個人貸出点数

(単位：点)

	1 年 (2クラス)	2 年 (2クラス)	3 年 (2クラス)	4 年 (2クラス)	5 年 (2クラス)	6 年 (2クラス)	支援学級 (3クラス)	総合計
年間合計	1,577	1,228	1,130	762	593	1,125	227	6,642
一人あたり	37.5	29.2	21.7	16.9	14.1	19.4	20.6	22.7
一人あたりの 昨年度比	126%	115%	88%	68%	61%	74%	70%	88%

※1 1人1冊1週間の貸出

※2 夏休み用貸出(7月)は1人1冊、冬休み用貸出(12月)は1人3冊貸出可

② 学級文庫貸出点数

(単位：点)

	1 年 (2クラス)	2 年 (2クラス)	3 年 (2クラス)	4 年 (2クラス)	5 年 (2クラス)	6 年 (2クラス)	支援学級 (3クラス)	総合計
学年合計	190	271	200	127	139	95	48	1,070

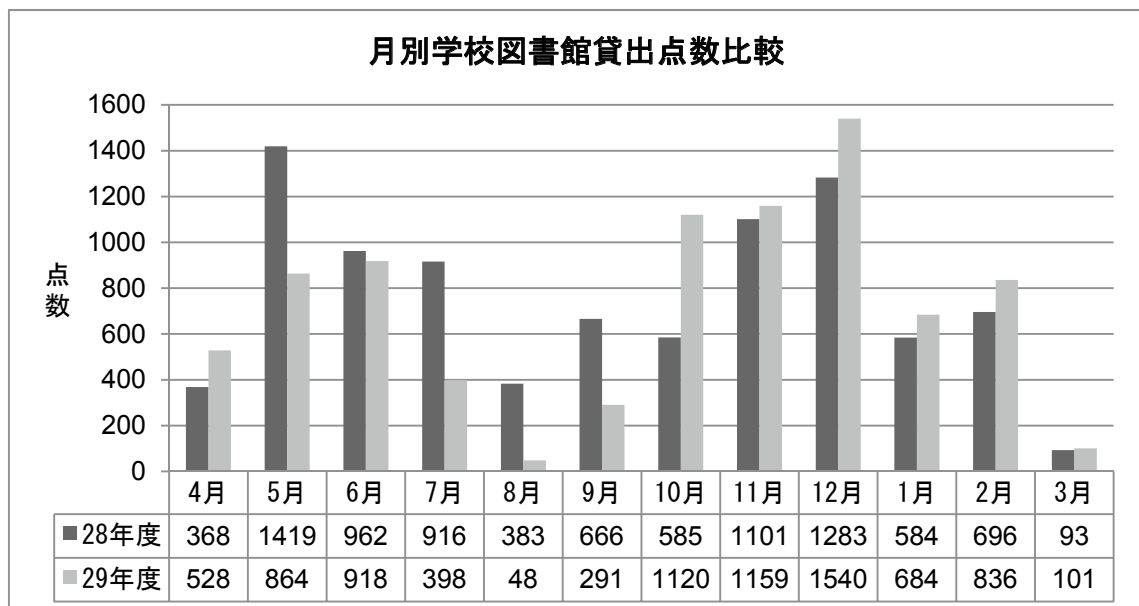
③ 調べ学習等貸出点数

(単位：点)

	1 年 (2クラス)	2 年 (2クラス)	3 年 (2クラス)	4 年 (2クラス)	5 年 (2クラス)	6 年 (2クラス)	支援学級 (3クラス)	総合計
学年合計	149	73	119	240	26	81	87	775
昨年度比	182%	52%	175%	222%	23%	125%	249%	126%

(2) 学校図書館利用実績比較

表1 月別貸出点数の比較



今年度は昨年度に比べ、上半期に貸出冊数の減少が見られる。特に7月の貸出冊数減少の理由は、電算化作業の効率化を図るため、夏休み用貸出の冊数を昨年度の1人3冊から1冊にしたことによる。同理由により、2学期開始から9月末までは個人貸出のみ停止した（図書室は、調べ学習等に開放した）。12月の貸出冊数増加の理由は、読書企画「読書ポイントカード」の実施のためと考えられ、低・中学年児童の読書意欲を高める効果が得られた。この状態を継続できるように、新たな企画等を検討し、さらなる児童の読書意欲の向上に取り組んでいきたい。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

（１）本年度の成果

- 成果1 第二図書室の工夫として、特に3類図書のラベル変更と分類細則の作成を行うことで、授業での活用頻度を高めることができた。
- 成果2 11月の読書企画「読書ポイントカード」の実施により、今まであまり図書室を利用していなかった児童が足を運ぶようになった。
- 成果3 1学年に向けたブックトークで絵本から読み物（物語）への薦めを提案し、物語を読む児童を増やすことができた。また、今まであまり人気がなかった『シートン動物記』を動物好きの児童に薦めたところ、そこから一部の児童の間で人気になったことは一つの成果と考えられる。
- 成果4 図書ボランティアの方と先生方の協力を得ることで、第一図書室の図書の登録を終わらせることができ、11月からバーコードでの個人貸出を開始することができた。

（２）来年度に向けた課題

- 課題1 5・6年生の貸出冊数が少なかったため、高学年に向けた読書の働きかけが必要。
- 課題2 代本板なしでは、借りた本を自力で元に戻すことが難しい状況である。特に3年生以上の児童には、図書の分類や書架の位置を把握させ、代本板なしの返却を検討。
- 課題3 第二図書室の図書の電算化作業を進める。